



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 アイエグループ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 7509 URL <http://www.ia-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 教行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 岡野 良信

TEL 045-821-7500

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,257	△6.7	937	33.5	1,019	13.4	933	95.0
29年3月期第3四半期	26,012	△1.1	702	△12.7	899	△16.3	478	△25.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 957百万円 (101.4%) 29年3月期第3四半期 475百万円 (△27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	610.67	—
29年3月期第3四半期	301.10	—

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に該当株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,995	14,617	44.3
29年3月期	30,375	13,913	45.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 14,617百万円 29年3月期 13,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
30年3月期	—	12.00	—		
30年3月期(予想)				60.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は12円となり、1株当たり年間配当金は24円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	△2.7	850	25.6	1,000	3.1	520	56.3	336.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,645,360 株	29年3月期	1,645,360 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	121,327 株	29年3月期	101,125 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,529,461 株	29年3月期3Q	1,590,406 株

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に該当株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月23日開催の第34期定期株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

1.平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 12円(注1)

2.平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益

通期 67円 34銭

(注1)株式併合考慮前に換算した配当額であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記.....	8
(継続企業的前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(セグメント情報).....	8

1.当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

一方、個人消費につきましては雇用・所得環境に改善が見られるものの、依然として消費者の節約志向は根強く、その先行きは不透明な状況であります。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業が減収増益、ブライダル事業は減収減益となり、建設不動産事業は減収増益となりました。

なお、セグメント別の状況は下記の通りとなります。

(カー用品事業)

前連結会計年度において契約期間満了により2店舗を閉店した影響を補いきれず前年同期と比べ減収となりましたが、利益面において、タイヤメーカー主導の値上げに備えた駆け込み需要が寄与したこと、ピットサービス部門において車検および付帯サービス売上が好調に推移したこと、また車両販売も好調に推移したこと等により、増益となりました。

(ブライダル事業)

高付加価値商品の開発提案に努めた結果、施行単価の向上が図られましたが、前連結会計年度において1店舗を事業譲渡したこと、およびその他の式場における施行組数が減少したことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

(建設不動産事業)

高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の取得および賃貸稼働率の向上ならびに提案型による収益性の高い建築工事に注力したことにより、前年同期と比べ減収増益となりました。

(その他の事業)

コメダ珈琲4店舗が売上に寄与しましたが、前連結会計年度に閉店したカー用品事業店舗の賃料収入の減少等により、前年同期と比べ減収減益となりました。

(総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は24,257百万円(前年同期比6.7%減)となり、営業利益につきましては937百万円(前年同期比33.5%増)、経常利益につきましては1,019百万円(前年同期比13.4%増)となりました。また、投資有価証券の売却に伴う利益415百万円を特別利益に計上いたしました。これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、933百万円(前年同期比95.0%増)となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は32,995百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,620百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、12,960百万円（前連結会計年度末比3,712百万円増）となりました。主な増加要因はたな卸資産の増加（2,589百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、20,034百万円（前連結会計年度末比1,092百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（716百万円減）によります。

c. 流動負債

流動負債残高は、10,782百万円（前連結会計年度末比2,841百万円増）となりました。主な増加要因は、短期借入金の増加（2,434百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、7,595百万円（前連結会計年度末比925百万円減）となりました。主な減少要因は、長期借入金等の減少（927百万円減）によります。

e. 純資産

純資産残高は、14,617百万円（前連結会計年度末比704百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（749百万円増）であります。

自己資本比率は、44.3%となり前連結会計年度末比1.5ポイントの減少となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,096,058	1,570,607
売掛金	1,088,666	1,810,566
たな卸資産	5,917,711	8,506,794
繰延税金資産	370,845	342,442
その他	775,397	730,583
流動資産合計	9,248,679	12,960,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,461,525	7,744,712
土地	5,127,543	4,969,703
リース資産(純額)	170,787	138,310
その他(純額)	438,531	398,738
有形固定資産合計	14,198,388	13,251,464
無形固定資産		
のれん	178,179	114,022
その他	156,511	138,026
無形固定資産合計	334,690	252,049
投資その他の資産		
投資有価証券	140,919	151,057
長期貸付金	22,870	22,870
長期前払費用	365,113	308,287
差入保証金	5,219,568	5,149,607
繰延税金資産	732,514	780,788
その他	136,034	141,671
貸倒引当金	△22,870	△22,870
投資その他の資産合計	6,594,151	6,531,411
固定資産合計	21,127,229	20,034,926
資産合計	30,375,909	32,995,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,182,348	1,761,936
短期借入金	3,781,145	6,215,734
リース債務	59,766	57,578
未払法人税等	261,161	379,269
未払消費税等	144,641	78,676
未成工事受入金	32,349	277,258
賞与引当金	373,677	183,364
役員賞与引当金	13,400	-
ポイント引当金	180,668	130,988
繰延税金負債	61,991	61,991
その他	1,850,224	1,636,131
流動負債合計	7,941,373	10,782,929
固定負債		
長期借入金	5,513,101	4,585,300
リース債務	113,973	83,797
長期預り保証金	1,122,154	1,084,391
退職給付に係る負債	398,697	413,299
役員退職慰労引当金	300,000	337,500
資産除去債務	1,057,242	1,069,057
繰延税金負債	14,493	14,493
その他	1,415	7,555
固定負債合計	8,521,077	7,595,394
負債合計	16,462,451	18,378,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	11,084,579	11,834,472
自己株式	△337,274	△406,753
株主資本合計	13,886,195	14,566,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,237	51,373
繰延ヘッジ損益	△974	△385
その他の包括利益累計額合計	27,262	50,987
純資産合計	13,913,458	14,617,597
負債純資産合計	30,375,909	32,995,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	26,012,349	24,257,383
売上原価	14,758,944	13,352,154
売上総利益	11,253,404	10,905,228
販売費及び一般管理費	10,551,276	9,967,916
営業利益	702,127	937,312
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,505	22,623
受取手数料	45,700	41,733
受取家賃	101,896	17,555
その他	76,584	46,014
営業外収益合計	248,687	127,926
営業外費用		
支払利息	34,472	33,258
その他	17,211	12,483
営業外費用合計	51,683	45,741
経常利益	899,132	1,019,497
特別利益		
事業譲渡益	24,981	-
固定資産売却益	-	2,646
投資有価証券売却益	-	415,750
特別利益合計	24,981	418,396
特別損失		
店舗閉鎖損失	113,105	-
固定資産除却損	5,738	2,962
固定資産売却損	-	98
特別損失合計	118,844	3,060
税金等調整前四半期純利益	805,269	1,434,833
法人税等	326,413	500,841
四半期純利益	478,856	933,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	478,856	933,991

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	478,856	933,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,520	23,136
繰延ヘッジ損益	1,172	588
その他の包括利益合計	△3,347	23,724
四半期包括利益	475,508	957,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	475,508	957,716

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,060,804	7,947,333	1,695,661	25,703,799	308,549	26,012,349	—	26,012,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,298	50	175,965	179,313	1,020,071	1,199,384	△ 1,199,384	—
計	16,064,102	7,947,383	1,871,627	25,883,113	1,328,620	27,211,733	△ 1,199,384	26,012,349
セグメント利益	370,820	79,422	200,191	650,435	45,600	696,035	6,092	702,127

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	カー用品 事業	ブライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	15,757,460	6,626,576	1,622,684	24,006,721	250,661	24,257,383	—	24,257,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,700	100	189,909	192,709	914,834	1,107,543	△ 1,107,543	—
計	15,760,160	6,626,676	1,812,593	24,199,430	1,165,495	25,364,926	△ 1,107,543	24,257,383
セグメント利益	817,418	△ 122,327	217,731	912,822	20,927	933,749	3,562	937,312

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。